

患者さんへ

「Cone-beam CT を用いた胸部外科手術の有用性の研究」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

1. 研究の対象

2021 年 9 月～2023 年 4 月に当院で微小肺病変に対する胸腔鏡下精密縮小手術を受けた方

2. 研究目的・方法

帝京大学ではハイブリッド手術室に設置されている Cone-beam CT を手術中に利用することで、肺野末梢微小肺病変の術中同定を行っています。本研究では、ウェアラブル線量計（nanoDot®；長瀬ラウンドウェア株式会社）を患者さんに貼付して、被ばく線量を測定しますが、Hook-wire 法（埼玉県立循環器・呼吸器病センター）と VAL-MAP 法（湘南鎌倉総合病院）でも同様に被ばく線量を測定して比較検討します。

研究期間：2022 年 9 月 1 日～2025 年 12 月 31 日

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「7. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

- (1) 患者情報：年齢、性別、病名
- (2) 手術情報：手術日、手術術式、切除側、切除部位など
- (3) 放射線被ばく情報：線量計位置、線量計測定値

5. 外部への情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。コード番号一覧表は、当院の個人情報管理者が保管・管理します。

6. 研究組織

【研究代表者】

帝京大学医学部外科学講座

齋藤 雄一

【参加施設、および施設担当者】

埼玉県立循環器・呼吸器病センター	高橋 伸政
愛知県がんセンター	黒田 浩章
湘南鎌倉総合病院	深井 隆太

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

湘南鎌倉総合病院 呼吸器外科 深井 隆太（当院研究責任者）

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 TEL：0467-46-1717

研究代表者：帝京大学医学部外科学講座 齋藤 雄一

作成年月日： 2023 年 8 月 23 日（第 1.1 版）